

## 広 報 広 聴 委 員 会 会 議 録

### 招 集

令和元年12月18日(水) 予算決算委員会終了後 議会委員会室

### 出席委員(8名)

(委員長) 奥 岩 浩 基 (副委員長) 前 原 茂  
安 達 卓 是 石 橋 佳 枝 伊 藤 ひろえ 稲 田 清  
岩 崎 康 朗 国 頭 靖

### 欠席委員(0名)

### 出席した事務局職員

先灘局長 佐藤議事調査担当主任

### 傍聴者

報道関係者0人 一般1人

### 協議事件

- ・議会報告会について
- ・市議会だよりについて
- ・その他

~~~~~

### 午前10時11分 開会

○奥岩委員長 ただいまから、広報広聴委員会を開会いたします。

協議事件1番、議会報告会について、(1)開催日程につきまして、事務局のほうからお願いいたします。

○佐藤議事長調査担当主任 では、お配りしております資料を見ていただけたらと思いますが、前回御協議された中で、開催時期については4月ということで、一応公務等、今のところ何も入ってなくて、前回と同じような時期になるんですけども、時期的にこのような時期がいいかなというのが一番上、黒い丸の上のほうになるんですけども、令和2年の4月の13日から4月の26日あたりの、2週間あるんですけど、どこかこのあたりで開催ができたかなということをちょっと考えておりまして、提案させていただいたところでございます。

あと、その下の参考のところなんですけれども、前回の協議の中で、開催の時間帯とかにつきまして、平日の夜にやったところは今回は、例えば土日にやるとか、そういうふうに工夫したらいいんじゃないかって、石橋委員さんでしたかね、御提案いただきまして、前回と前々回の開催の時間帯ですとか場所をちょっと表にしてみました。

大体、一番上の中心ブロック以外は土日にやったり、平日にやったりといいぐあいにかわりばんこになってるんですけど、中心ブロックだけは平日の夜しかちょっとまだやったことがないということがございます。中心ブロックも土日に開催をするのかどうか、そういったところも御協議いただいて、何か御提案があればお伺いしたいなというのと、あと、もう会場なんかでもできれば押さえていきたいなと思いますので、これまで開催した公民館

ですとか、市役所、支所ですとか、そういったところもちよつと表にして上げておりますが、今回はこのブロックはここがいいんじゃないかというのがもしあれば御提案いただけたらと思います。以上です。

**○奥岩委員長** 以上、御説明ありがとうございました。開催日程、時間、また曜日等につきまして、皆様、御意見いかがでしょうか。

伊藤委員。

**○伊藤委員** 駐車場のことで、中心から来られる方がたくさんいらっしゃるいいんですけど、それでもブロックでするので、駐車場がとめやすいところだとか、たくさんとめられるところじゃないとなかなか集まりにくいのかなと思うんで、そこら辺のところではどうかなと思います。

**○奥岩委員長** 国頭委員。

**○国頭委員** 広報のほうで決めるっていうこともあるんですけど、逆に平日でも土曜日でも日曜日でもできるっていう選択肢で、何か去年もブロックごとにメンバーが集まって、何かちょっと決めたような。ブロックのメンバーで決めてもいいんじゃないかなと、逆に。

**○奥岩委員長** 石橋委員。

**○石橋委員** 昼にするとか休日にするとか、割り振りをしてあったほうが。必ずしも夜だけなんていうんじゃないほうがいいと思う。

**○奥岩委員長** 前原委員。

**○前原委員** 基本的に、議会報告会っていうのは唯一の市民への報告というか、大きな報告会なので、平日の夜か土日にするっていうのが基本にしたほうが、私はいんじゃないかなと思いますので。特に中心ブロックなんかはふれあいの里を使ってもらえば。別に、日曜日も使えますよね、ふれあいの里ね。いいじゃない、全然ね。だけん、あそこは全然駐車場も使いやすいと思うし、そういうフレキシブルな考え方でいったほうがいいと思いますし、基本的には何としてもやっぱり夜やってもらいたい。あとは日曜日の昼っていう形にさせていただいて組んでいただければ。とにかく議会のほうが努力しなければいけない、細心に努力しないといけないと思いますので、その辺をこちらで提案させていただいて、どうしてもブロックのほうで反対があれば仕方ないと思いますけど、そういう形のほうが私は国頭さんが言われたのよりいいと思います。

**○奥岩委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 日程は、今まだはっきり決まっているわけではないですかね、でも、13日から26日。

**○奥岩委員長** 前回の委員会から、大体4月の13から20日ぐらいがいいんじゃないかっていうお話で確認をとりまして、先ほど事務局報告がありましたとおり、4月の13から26日が……。

**○伊藤委員** 26ですね。

**○奥岩委員長** はい、候補に挙げております。

**○伊藤委員** じゃあ、それで、今まだ意見が出るのかもしれないんですけど、今出された意見を考慮しつつ、あいてないところももう既にあると思うので、調整してもらったらいんじゃないかなと思っているんですけど。ここでどこがいいって決めてしまっても、それは優先順位ですけども、もうあいてないっていうようなこともあるんじゃないかと思う

んですけど。

○**奥岩委員長** 今、伊藤委員から日程と時間もですかね、時間、曜日も。日程だけ……。

○**伊藤委員** あいてないのに決められんですよね。

○**奥岩委員長** これについては、調整をしてはどうかという御意見がありました。こちらにつきまして、委員長、副委員長のほうで調整させていただいてという形でもよろしいでしょうか。

石橋委員。

○**石橋委員** その中で、例えば中心ブロックから南部ブロックのどっかは夜やるようにするとか、どっかは日曜やるというふうに割り振りしてもらったと思います。土日の夜を振り分けて、できれば前回は夜だったところが昼にしてみるとか、になったほうがいいんじゃないかと思えます。

○**奥岩委員長** ちなみに前回は、2カ所が平日の夜、1カ所が土曜日の午後、1カ所が土曜日の午後という形ですが、今回もこの形でよろしいですかね。ちなみに、あと場所につきまして、それぞれの4カ所ブロックで、今、中心についてはふれあいの里のほうが、やはり駐車場があるのでいいのではないかという御意見もございましたが、中心、中央、弓浜、南部につきましては、それぞれどちらのほうがよろしいか御意見ございましたらお伺いいたします。

伊藤委員。

○**伊藤委員** 中央は加茂公民館が多分、もう新しくなって、使えるのかどうかちょっと日程的にわかりませんが、いいのではないかなと思います。

○**奥岩委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** 私、中心なんですけど、過去の経緯でそんな決まりがあったわけじゃないんですけど、要は総合的に一番真ん中で来やすいので、ほかに来れなくても最後ここで、市役所とか、ふれあいの里とか、候補としては図書館の集会室ですか、とかにしておくと、別の意味でいろんな人が来やすいと。バスの便もというのがあって、多分このあたりを選んできた経緯があるので、もし、そういうことのほうが上回るってことであれば、さっき言った市役所の4階なり、図書館なり、ふれあいの里なり、その地域性というよりも真ん中で来やすいというところがあれば、それで私はいいいと思います。もし、そこで決まらないようであれば、自分のところにするために言うわけでは決してないですよ、けど、中学校区が3つあるんですけど、ふれあいの里が啓成なので、一応東山、義方みたいな部分もあるんですけど。それから明道が湊山で、残りが後藤ヶ丘中学校区がないんですけれども、私が自分のところはよくないと思ったので、義方と言おうと思ってたんですけど、駐車場のことになると義方はちょっと厳しいんですよ。なので、意見だけ言っときますので、最終的には委員長、副委員長の考えとそれから相手先の、公民館の中で一番大きい、名前が会議室か集会所か別として、結構押さえられている場合があるので、そこのバランスをとっていただければいいと思います。たくさんしゃべりました。

○**奥岩委員長** ほかがございますでしょうか。弓浜、南部につきまして、御意見等ありましたら。

○**岩崎委員** 弓浜は、駐車場は……。

○**前原委員** どこでやっても大丈夫。

○安達委員 大篠津だけがちょっと奥まってる。

○石橋委員 ちょっとね。

○安達委員 スペース的には同じぐらいと思っています。

○奥岩委員長 ありがとうございます。それでは正副一任ということで調整させていただきますので、決まり次第、委員の皆様方には御報告させていただきますので、よろしくお願い致します。

○佐藤議事調査担当主任 委員長、南部はいいですか、特に。

○奥岩委員長 南部はよろしいですか。私しかおらん。

○安達委員 委員長采配だ。

○奥岩委員長 前回、春日ですので、先ほどの稲田委員の話で中学校区の話も出ましたし、淀江、箕蚊屋と来ると、尚徳校区のほうがいかなと、私は思っております。

○岩崎委員 そうですね。

○奥岩委員長 ありがとうございます。

続きまして、(2)番、班編制につきまして、事務局から報告をお願いいたします。

事務局、お願いします。

○佐藤議事長調査担当主任 では、ちょっと資料の2、横判のA4のものを見ていただけますでしょうか。一応案ということで班編制つくらせていただきましたが、今の割り振りがそれぞれ御出身のといえますか、その地域の議員さんを、前回のほうも参考にしながら、入れさせていただいただけの形です。ごらんになられておわかりかと思いますが、例えば一番左の中心ブロック1班と書いてあるところは、総務政策の委員さんがやたら多いといえますか4人おられて、2班は、中央ブロックはいいぐあいに均一になっているんですけど、3班は広報広聴委員さんが多い、4班、南部ブロックは総務政策の委員さんがいないという偏りが出てきてしまう状況になっております。

一応、この班を決めるのに当たっては、その下に(注)①ってありまして、その2行目の半ばから後ろのほうに所属する常任委員会、会派等を勘案し、広報広聴委員会における協議を経て議長が決めるということになっておりますので、この偏りもちょっと見ながら、きょう、どうするかということをお協議いただけたらと思います。お願いします。

○奥岩委員長 以上、事務局から報告でした。班編制につきまして、何か御意見ございませんでしょうか。

先ほど御報告ありましたとおり、昨年と同じような割り振りをさせていただいたんですが、たまたま委員会のバランスがよく、また地元の議員さんもそこにおられるという形でしたが、今回地元で割り振りをさせていただきますと、少しバランスが悪いところがあるように見受けられますが、このあたりにつきましてはどういうふうに御判断されるのか、皆さんの御意見を伺いたいところですが、いかがでしょうか。

稲田委員。

○稲田委員 これ見させていただいて、すごくバランスを欠いてるのか、少しだけなのか、ちょっとそこが難しいのと、じゃあ、この枠組みを一回ちょっと見直しましょうかってなったら、またこれ以上の案が出てくるというのも、ないと今から否定していいかわかりませんが、ちょっと難しいなと思いましたので、こちらでよろしければこのままでと。要は、代案が出てこないんですね、これの。ということで自分の中で考えましたが、ない

のでこのやり方でもいいかなと。議長、副議長にはちょっと負担ってことはないでしょうけれども、総務政策の話題が南部で出たときにはフォローいただくというようなところで、委員がしゃべれば別に、その委員が答えなきゃいけないというわけではないので、という意見です。

**○奥岩委員長** 石橋委員。

**○石橋委員** 会場っていうか、ブロックごと、地域ごとで分かれているんだけど、議員は必ずしもそうではなくって、シャッフルだっていう考え方にしてみれば、組み方はあると思うんですけど、やっぱり地域でなるべくっていうことだったら、ちょっとこれ以上変えようがないのかなって感じがします。

**○奥岩委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 私もこれでいいと思います。委員会は1年で交代していらっしゃる方もいらっしゃると思いますので、説明できないということはないと思いますし、こういう形でいいと思います。

**○奥岩委員長** 今、お三方から、この案でよろしいのではないかという御意見いただきましたが、よろしいでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○奥岩委員長** それでは、正副議長には、南部のときに少し負担がかかるかもしれませんが。

〔「いえいえ、そんなことはないです。」と岩崎委員〕

よろしくをお願いします。

続きまして、(3)番、テーマ・内容につきまして、お手元に昨年の資料なんですけど、お配りをさせていただいておりますので、こちらも事務局のほうから、少し説明をお願いいたします。

事務局、お願いします。

**○佐藤議事長調査担当主任** では、資料3と書いてあるホチキスどめをしているものをごらんいただけたらと思います。テーマについて、前回の協議の中で、議会報告会開催要綱の第5条に沿ったものでっていうことでつくったらどうかと、前回と同じ形なんです、そういうところを御協議されましたので、これが前回、ことしの4月に開催したものの資料を一応参考として皆様にお配りをしております。ちょっと縮小してお配りしております。これが前回の資料です。

前回のテーマは一枚目の上に書いてありますけれども、議会の仕組みと予算、決算と委員会の審議過程などというふうにしとられますが、来年の4月はどうしましょうかということをお協議いただけたらと思います。以上です。

**○奥岩委員長** ありがとうございます。お手元の資料が昨年使用させていただいたものになりまして、予算、決算、そして議会の関係と各委員会の主な事業を、昨年は3つ程度御説明させていただいて、一番最後に広報広聴委員会の説明を入れさせていただいて、最後に質疑応答という形でさせていただいておりました。

これにつきまして、昨年に沿った形でよいのか、またはほかの形のほうがいいのか、皆様の御意見をいただきまして、御協議いただきたいと思いますのでお願いいたします。

なお、資料作成につきましては、前回私からお話ししておりましたとおり、委員の皆様

に御協力お願いすると思っておりますので、その際には御協力お願いいたします。

稲田委員。

**○稲田委員** 昨年これをつくらせていただいたうちの一人なんですけど、皆さんが報告会に出られて肌感覚でいろんな、この資料が相手にどんだけ読み込まれているかなとか、いろいろそれも意見で出してもらったほうがいいかなと思います。何が言いたいかというと、先ほど佐藤さんからありました第5条のところに予算に関すること、決算に関すること、議会の議決の経緯とか、議会の活動、運営、議会の仕組みっていうのは、もう列挙されてますので、これを入れないと成立しないというのが、決して足かせという言葉は使いませんけれども、これだからなきゃならないんですわ、ねばならないということです。だから、これを将来に向かってどうするかっていうのは、一応この委員会が6月に始まるっていうのはあったんですけど、とはいえ、来年の4月に行うのは従来どおり、従前どおりをベースとするっていうことは決まっています。ここでそれを議論させてくださいとは申しませんが、毛頭その気はありません。ただ、これを入れないといけないので、どちらかという、かた目な話というか、なかなか双方向に持っていくような部分っていうのは、もともと双方向狙っているのかどうかおいてですね、なかなか難しいじゃないかと。結局レイアウトとか、イラスト使う使わないとかはあると思っておりますけど、なかなかこのさっき言った、5項目外してはつukれないというところが一つありますので、その点は御理解というか確認ということで言わせていただきました。あとの、書くときに、4月ですので、予算の通過した直後の時期ですから、ここがこうなりますよ、さらにこういうこともやっていきたいですね、の「ね」の部分はなかなか言いづらいので、資料にはできないんですけども、ちょっと令和2年度4月以降のことをもし盛り込むのであれば、それが議論というか、意見が出やすいように、つくりはできるかと思いますが、現状はこの5項目をしっかりと伝える資料に徹して、昨年はつukりましたということで、ちょっと話をしておきます。

**○奥岩委員長** 今年度、当委員会でも、先ほど稲田委員からお話ありましたとおり、要綱に沿ってきちっと次の議会報告会も開催させていただいて、その上でしっかりと、昨年度の広報広聴で上がった意見、その前の意見を踏まえて検証を行っていかうというお話をしておりますので、大枠についてはこちらのほうで皆様の御同意をいただきたいところではございますが、ほかにございましたらお願いいたします。

特にないようでしたら、内容につきましてはそれぞれ総務、都市経済、民生から皆様出ていただいておりますので、議会報告会の内容について、こちらの案件がよいのではないかという御意見ございましたら、私か前原副委員長のほうまで御報告をお願いしたいと思います。それを踏まえまして、大枠につきましては、私のほうから皆様をお願いをして、作業委員のほうで、資料作成を進めていただきたいと思いますと思いますが、いかがでしょうか。

稲田委員。

**○稲田委員** 異論ではないんですけど、各委員会から出られてますので、決算に関すること、予算に関すること、それぞれづくり手がバランスを見て、だからづくり手の感覚が狂ってたらこれはもう恐縮するだけなんですけど、各委員から募られても、最初で決められるのは、委員長、副委員長で一任でもいいかもしれません。この項目っていう項目以外は委員長、副委員長で決められてもいいですし、各委員、その所属している委員会のほうで、委員で考えるっていうのも手法かなと思って、提案だけさせていただきました。

○**奥岩委員長** 今、御提案いただきましたので、それぞれの常任委員会に限らず……。

○**稲田委員** 常任委員会の垣根があってもいいし、なくてもいいし。そこも、要は委員長が一人ですと、仮に悩んで、ああどうしようかっていうよりは、この広報広聴の委員にどの項目かっていうのを選ぶ作業をさせるのもいいし、一緒に考えるでもいいということですね。去年、なかなかそこで一人で考える時間も長かったもんですから、そこは共有してもいいんじゃないでしょうか。はい、終わります。

○**奥岩委員長** それでは、内容につきましては皆様と共有しながら、最終的には委員長、副委員長のほうで締めさせていただきますので、お願いいたします。

では、(3)が終わりまして、次に、協議事件の2番、市議会だよりにつきまして、(1)市議会だより60号の表紙選定につきまして協議をいたしたいと思います。

こちらの表紙選定につきまして、皆様のお手元に資料がございますでしょうか。では、事務局のほうから御説明をお願いいたします。

○**佐藤議事長調査担当主任** ちょっとレジュメとは日にちがずれて、追加で配付をさせていただきましたこのちょっと分厚いホチキスの、こちら、きょうお持ちでしょうか。

見ていただいているかと思うんですけども、これは次の発行、令和2年3月発行の表紙の応募作品です。全部で12点あります。また、先ほどもちょっと話してたんですが、発行時期等を踏まえまして御協議いただけたらと思います。以上です。

○**奥岩委員長** ありがとうございます。皆様、こちらのほう、目を通していただけましたか。

稲田委員。

○**稲田委員** ちょっと一つ確認させてください。2番の中海夕暮れコンサートのところに、規定サイズ未満というのがあるので。いいですか、お願いします。

○**奥岩委員長** 事務局、お願いします。

○**佐藤議事長調査担当主任** 済みません、説明が漏れてしまいました。2番のところの撮影・作成年月日等のところに規定サイズ未満と、これが一応募の際には、印刷会社さんと相談しまして、写真だったら2L判以上ということを決めさせていただいてるんですけど、持ってこられた写真がL判だったんですね。ちょっとこれは、そもそも選定の対象外にするかと思ったんですけど、一応ちょっとせっかくなので、このたびこちらに提案させてもらったんですけども、これが多分拡大すると画像が荒れるかなと思います。以上です。済みませんでした。

○**奥岩委員長** それでは、2番につきましては、規定外だという御報告が先ほどございましたが、そういったしますと、こちら選定のリストには入らないと思いますので、外しましょうか。

〔「外しましょう」と声あり〕

○**奥岩委員長** では、2番は今回の候補からは除外して、1番から12の中でお願いをいたします。それでは皆様、目を通されたと思いますので、国頭委員のほうからお願いいたします。

国頭委員。

○**国頭委員** 3月ということで、春でいくのには11とか12のがいいのかなと思ったんですけど。11って、これ、あれですよ、伯耆町の植田正治の辺から撮ったやつですよ

ね。

○岩崎委員 これ、春日ですよ。

○前原委員 春日です。箕蚊屋。

○国頭委員 春日ですか。じゃあ、11で。

○奥岩委員長 11ですね。

石橋委員。

○石橋委員 私も季節で3月、4月の終わり、6月は梅雨のが出るんでしょうから。そう  
いったことで、やっぱり春らしい感じで、あんまり寒気なのはいけんじゃないかというこ  
とで、11です。

○奥岩委員長 11ですね。

前原委員。

○前原委員 個人的には1番がいいです。ちょっと人が写ってるのがいいのかなって、写  
ってるっていか描かれているので。なかなかいい絵かなと思います。

○奥岩委員長 1番。

稲田委員。

○稲田委員 私2番だったもんでね。春に向かっていくので、お花が咲いてるとか、今回  
は夜だったので、夕方の絵なんですよって、夕方がだめってわけではないんだけど。3  
月予算で、何かその米子城跡とかもいっぱい出てくるだろうから、城でもいいっていつた  
ら5番があるしな。4番で。かわまちづくりが、そこまで市民が思われるかは別として。

○奥岩委員長 続きまして、岩崎委員。

○岩崎委員 一つ選定ですよ、苦しいんですよ、一つだと。二、三ありまして、一番  
は11もいいなと思っておりました。春だし、ちょうど代かき前の写真かなという感じだ  
と思うんですよ。それで、あとは3番のイラスト。かわいらしい、春らしい。今まで多  
分写真ばかりでイラストなかったの、たまにはいいかななんて思ったりもしたので、  
どちらかだと思って。じゃあ、私3番で。

○奥岩委員長 3番ですね。

伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 私も3番もいいと思いましたが、やっぱり私も初めは2番がいいかなと思っ  
てました、稲田委員と一緒に。だけど、2番はだめなので。1番で。

○奥岩委員長 1番。

続きまして、安達委員。

○安達委員 そんなに苦労していませんが、4番。

(「割れたで。」と岩崎委員)

(「委員長裁決で。」と稲田委員)

○奥岩委員長 最初、私、11がいいかと思ったんですが、よく見ると、これ、田植え前  
なんで5月か6月じゃないかなと思って、私の地区なんでよくわかるんですけど。撮影時  
に5月ってあったんですよ、3月と考えると、春らしい、かわいらしいのがいいかなと  
思ひまして、3番で。

そういたしますと、同率で、今のところ2票ずつで、1、3、4、11となっておりますので、済みません、再度ですね、どういたしましょう。

(「委員長が決めるか、決選投票するとか。」と稲田委員)

もう一度皆さんに御投票いただいてもよろしいでしょうか。挙手でよろしいですか、1、3、4、11。1が中海夕暮れコンサートの絵のほう、3が、ハイチーズで入学式の……。

(「挙手にしてもみんな、2、2、2、2で分かれてるから。」と岩崎委員)

それで決まらない場合は私のほうで決めたいと思います。

○稲田委員 僕、譲ってもいいですよ。

○奥岩委員長 何がですか。

○稲田委員 変えても。それはややこしいか。

○奥岩委員長 もう一度、確認させてください。4番が米子港の夕暮れの写真、そして11番は私たちを見守る伯耆富士ということで、5月の写真ですね。

それでは、1番がよいと思われた方、挙手をお願いいたします。

[賛成者挙手…伊藤委員]

○奥岩委員長 3番の方、挙手をお願いいたします。

[賛成者挙手…石橋委員、稲田委員、岩崎委員、前原委員]

○奥岩委員長 4番、お願いいたします。

[賛成者挙手…安達委員]

○奥岩委員長 11番、お願いいたします。

[賛成者挙手…国頭委員]

○奥岩委員長 それでは、3番のハイチーズで、次回の議会だよりの表紙、こちらでさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、(2)番、議会運営委員会行政視察、東京都あきる野市の市議会だよりに関する御報告を前原副委員長のほうからお願いいたします。

○前原委員 済みません。ごめんなさい、添付した一番上のやつが、横須賀市がついてますので、あきる野市と差しかえさせてください。大変失礼いたしました。

きのう、ちょっとお話をさせてもらったんですが、10月24日に東京都あきる野市のほうに、議会運営委員会のほうで行かせていただきました。その中で、議会改革の一環としてさまざまな動きをされてるんですけども、特にあきる野市の議会だよりに、佐藤さんに取り寄せていただきました「ギカイの時間」という冊子があります、これ非常にすぐれてまして、実は第8回のマニフェスト大賞の優秀賞を受賞されてるということで、非常に勉強になりました。

何がすごいかというと、まず概観が人を中心に写真を撮っているという、必ず人だということ。そして、中の記事のほうも対談なんかを入れて、非常に細かくいろんなことが載っています。

特に、ここで言いたいのは、ちょっとそのまま読みますね。あきる野市の市議会の広報誌「ギカイの時間」は、2013年、第8回マニフェスト大賞優秀賞を受賞。市民に議会を知ってもらうためには議会だよりは重要なツールであると。しかし、その内容や外見などかたいイメージがあり、幅広い年代の市民に手にとってもらうことは難しい。そこで大幅に内容や情報量を制限し、誰にでも親しみやすい広報誌を検討すると。平成25年2月より現在の広報誌「ギカイの時間」を発行していると。巻頭の特集は、子育てママと市議会、創業者と市議会という形で座談会の形式をとっていると。議案のページはピックアップ

プ方式で3件程度の内容でわかりやすい文章にしていると。最終ページには、「きかせて！あなたの未来」と題して、市内の小学生の写真とインタビューの内容が記載されている。また、毎年、市民アンケートをとって、紙面の改善に努めている。全体を通して、民間にあるタウン誌のように、非常に読みやすい広報紙であるということでした。

そのときにいただいたパワーポイントの資料を見ると、それも一緒についているんですけども、基本的には議員さんが、全て編集をされています。広報広聴委員会というのがありまして、そこでやられているということで、TTPって書いてあるのは何だろうって思ったら、徹底的にパクると。いいところをみんなパクっていくというTTPという精神でやるんだということを言われてました。だから、言われてたのは、どんどんパクってください、いいところはパクってくださいということでした。

開いてもらうと、2ページには議会だよりの、いろんなのがあるんですね、留学生みたいなのが載ってたりとか、子育てママが載ってたりという形です。特徴は、余白を大きくすること。きょう、お配りいただいたのを見ていただくと、4ページなんか、かなり余白がありますね。

あと、一般質問なんですけど、QアンドA方式なんですけども、一問一答方式で顔写真と、答弁者名をカットと、小さくしておられます。答弁者はAとしたら、QとAしかありませんので、うちの場合は何とか部長っていうふうに書くんですけど、結局その当局で統一した答えだと思います、当局が答えるので、市長が答えるのと同じことだと思いますので、そこは要らないんじゃないかという声がありました。県政だよりをを見ると、やっぱり問いと答えしかなくて、誰が答えたかの県政だよりは書いてないので、ここは変えればなと思ったんですけども、抵抗される方もいらっしゃるのではなかなか、今後の課題としたいなと思っております。

それから、基本的には非常に見やすくわかりやすいなと思います。余り情報量をたくさん入れないということがポイントだっというふうに言われましたので、ということですので。ちょっときょうインターネットなんかで見たんですけど、このアンケートを毎回とられてまして、議会だよりに関しては、大体市民の6割ぐらいの方が読まれているということでした。それと、年代的にはやっぱり40代から上の方が読まれている、40代、50代、60代、70代の方が読まれていて、若い人はやっぱり読まないという状況です。ただ、これ全部新聞の折り込みでしか配ってませんので、我々のとはちょっと違ってまして、我々のは各公民館にも置いてありますし、もちろん自治会で配っておるところですので、それがちょっと違うのかなと思っております。こんな形で参考になればということで御報告させていただきました。簡単ですけど、以上でございます。

**○奥岩委員長** 前原副委員長、ありがとうございます。先ほどお話いただいております表紙のこの顔につきましても、去年の広報広聴委員会で大山町さんに視察に行かせていただいたときも、大山町の議員さんたちがそれぞれカメラをいつも持っていて、いいシーンがあったら町民の方の了承を得て写真を撮って、表紙の素材を常に残しておくというようなお話もありましたし、また余白のところも、昨年、大山町さんに行かせていただいたときも、読み疲れを防ぐために余白を大きくとって、手にとってしっかりと読んでもらえたいというようなお話もいただいております。非常に、私もこの報告を見させていただきまして、読みやすいですし手にとりやすいですね。これを見た後に、我々の市議会だよ

をぱっと、皆さん今お手元にあるかわかりませんが、開いていただきますと、本当に読み疲れじゃないですけど、一気に字がばあっと入ってきて、どこから読もうかというような形もありますので、市議会だよりについては引き続き委員会の皆様と御協議を重ねて、これも市議会だよりがどういった取り締まりで、何を市民の皆様はこちらでお伝えするのかっていうところも含めて、今後協議をさせていただきたいと思います。先ほど貴重な御意見もいただきましたし、余白をとる上で、あきる野市さんがやっておられるようなQアンドAっていう形も一つの手法だと思います。県政だよりのほうでは、既に問・答というような形にも書いておられますので、これにつきまして皆様それぞれ御意見を各会派のほうでいただいたかと思いますが、ちょっとこちらのほうで共有していただきたいと思いますので、順番にお願いしたいと思います。

○**稲田委員** QアンドAでしたっけ。

○**奥岩委員長** QアンドAについてと、あと補足でこちらの市議会だよりについて、こういったところは参考になるんじゃないかとかがありましたら、お願いいたします。

稲田委員。

○**稲田委員** QアンドAはおおむね反対もなく。QアンドAって書くことが今の意向なのかな、市長とか総合部長というところが余りわかってなかったのも、今、あれですけど、もうそれは問題なく。ちょっと確認したいんですけど、あきる野市さんの写真が多いですね、カラー。前に紹介させてもらった長久手さんも議会だより、「ギカイの時間」と「ぎかいたいむ」で、似てるようなタイトルですね。こちらもカラーなんで、米子市議会の議会だよりは、中面は白黒の契約ですよ。ですから、写真を入れたりとかカラーにしたりということで予算をとっていくのか、今の予算でできる、仮に枚数を縮小するのか、そこを考えながら話すのか、いやそれはそれで別としていいものをつくって行って、どっかで予算のことを考えましようなのか、どうがいいのか。一応別なんですね。事務局に、中の2ページから最終ページに行く前までは白黒契約ですよ。

○**奥岩委員長** 事務局、お願いします。

○**佐藤議事長調査担当主任** 白黒契約です。以前の委員会でもたしか同じような協議をされて、見積もりをとらせていただいたかと思うんですが、ちょっと金額がすぐには出てこないんですけど、かなり高額になってしまって諦めたといった形だったような気がします。

○**奥岩委員長** 稲田委員。

○**稲田委員** なので、どうするかですよ。とはいえ、いいものとか、何かにあったもので変えていこうを妨げるつもりはないんですけど。どっかで予算の話が出るので、話を縮小化するつもりはないんですけど、というのがありました。続けていきますけど、徐々にですけど、すごく変わってきているとは、我々は毎回見ているので思うので、この流れだと思うんですけど、今回も夜景の写真なんていうのは以前の米子市議会から考えたらまずない発想だったと思いますので、こういったちょっと取り組みを続けていきたいという気持ちは当然ございます。終わります。

○**奥岩委員長** 伊藤委員。

○**伊藤委員** 私たちの会派も、QアンドAには問題なく、そっちの文字が少ないほうがいいんじゃないかという意見がありました。やっぱり全体的にも文字をもっと少なくして、見やすいもののほうがいいんじゃないかというような意見もありましたし、意見書だとか

決議文のようなものだとか、全部入れてしまうので、どうしても文字のフォントが小さくなってしまって、これじゃ読みづらいなというようなことがあると思います。開いた途端にもう見るのもちょっと無理っていうような形、読み疲れですよ、それこそ。そういうふうなことのないように、何とか工夫できないのかなと。やっぱりもっともっとホームページに誘導する、御高齢の方をホームページに誘導するのはなかなか難しいので、それを補完するほかの方法をつくるだとか、何かやっぱりそういうふうな形でやったほうがいいんじゃないかなという意見が出ました。

あと、市民が知りたい情報っていうのと、議会が伝えたい情報っていうのが、やっぱりもっと掲載するのが必要だなと思いますけれども、それにすると、やっぱり紙面を工夫しなきゃいけないので、どこを削るかとか、そういうような議論も必要ではないかと思えます。

最後に、米子市議会も裏の面がカラーになっておりますので、このカラーのところをもうちょっと生かす工夫ができるんじゃないかなという意見が出ました。これは白黒でも多分いいような、表だとかは中に入れてしまって、例えば視察をしているところだとか、活動がわかるような写真が後ろに出てくると、カラーで見やすいのかなという意見もありました。補足があるっていうことで。

**○奥岩委員長** 安達委員。

**○安達委員** それと、トピックス的な項目をタイムリーに取り込んで入れたらっていうのを会派で話したところですよ。どう扱うかは細かいところまでは議論してないですが、そういったものを取り込んだらっていうことは、話し合いの場では出てきました。

**○奥岩委員長** 前原委員。

**○前原委員** 私たちの会派では、QアンドAは読みやすくなるならそのほうがいいということ、具体的にありました。つけ足して言わせてもらうと、あきる野市のほうのアンケートの中で情報量についてということがあったんで、これ言うのを忘れてたんですけども、4分の3はちょうどいいということと、4分の1は足りないっていう方もいらっしやったということで、そういうバランスなのかなと思いますので、ちょっとうちは情報が多過ぎるのかなっていうところですよ。あと、裏面なんですけど、先ほどの中でカラーのページなっていう話があったので、あきる野市さんのをパクるわけじゃありませんけども、小学生も載せると親御さんがとっても喜ぶっていう声があって、それを機会に読んでくださる方もいらっしやいますので、小学校はたくさんありますんで、取材もしやすいのかな。御希望されないとだめですけども、募って、そういう取材活動じゃありませんけども、カメラを持っていくっていうのも一つの手で、そういうこともやればやっていったほうが開かれた議会になるんじゃないかなと思います。

**○奥岩委員長** 先ほどの小学生の話ですけど、大山町さんのほうにも視察に行かせていただいたときに、こちらの2面のほうに「みんなのひろば声」っていう形で町民の皆様のお顔と御意見とっていう形で掲載されておられましたので、やはり市民の皆様と近いほうがより親近感を持って手にとっていただきやすいんだらうなというところは、大山町さんも賞をとられてますし、あきる野市さんもとられてますし、そこから我々が学んで、先ほどのTTPじゃありませんが、やっていく余地は多分にあるだらうなと思いました。ありがとうございます。

続きまして、石橋委員さん。

**○石橋委員** ちゃんと会派の意見をまとめてきてなくて申しわけないんですけど、そのQアンドAについては、ちょっと微妙だなとか、やっぱり誰が答えてるのかっていうのはかなり大事だなというふうに思ってるところでありまして、特にこの問題では市長の意見がはっきり聞きたいのに答えなかったとあって、私この間怒ったんですけど、そういうこともありますので、その意味でもQアンドAでいいのかな、確かにスペースが大分助かるっていうのもありますけども、いいのかなっていうのがちょっと疑問でとか、それでいいわっていう感じにちょっとならないっていうところです。あと、あきる野市さんの広報紙については、やっぱり読みやすいのは内容を盛り込みすぎないからなんだと思うんですね。だから、さっき言われた4分の3が情報量が一番いい、4分の1は少ないって、やっぱりすごく読みたい人には物足りなくなるんだと思うんですけど、たくさんの人に読んでもらおうと思うと、かなり情報を絞って、何でもかんでもじゃないっていうことで絞っていかないとだめなんだと思うんですよね。カラーは、前に一度、会派の議会だよりをフルカラーにしましたらすごいことになって、今は表だけカラーで裏は1色になってるんですけど。本当に予算のことがすごい絡んでくるので、フルカラーは難しいと思うんですけど、それで読みやすくしようとする、今度は情報量をぐっと絞るようになるかなと。だから、読みやすさっていうふうなことで、大分この間いろんな工夫したりとか、委員会で変えてきてますけど、その方向を追求していくと、やっぱりもうちょっと内容を削るよりないのかなというふうには思います。

**○奥岩委員長** 国頭委員。

**○国頭委員** 私も前原さんと一緒に議運で行って聞いた人間ですので、本当にここまでされるのにすごい試行錯誤されて、市民アンケートをとったりしてつくっておられるので、ここまでいくのに大変だったことは聞いていまして、かなりいいものではないかと思っておるんですけど、会派で話して、私もカラーだからっていうのもやっぱりあるんですよね、より見やすいついていうのは。

それで、あと一般質問については、ここはあきる野市さんが、やはりさっき言われたようにアンサーのところで、市長だとか部長が答える、あきる野市さんの中でも最初は市長とか書いてもらいたいという意見はあったけども、こうされたという話もありました。一般質問については、QアンドAっていうか、ここは非常に見やすいなと思います。

あと、一番後ろの表紙の、先ほどの小学生の下のところ、中段のところ、いつも毎号、次回定例会議の議会を見学しようとか、動画で見ようとかそういうの、とにかく参加してもらいたいっていう、見に来てもらいたいみたいなのが、いつもあるのがいいのかなと思っております。

それから、一応会派の中でちょっと話があったことが、うちの場合は陳情等とか議案の賛否、二、三年前から後ろにつけるようになったもので、これについては、あきる野市さんの場合は6月議会にはないんですね。6月議会のを私はもらってきたんで、賛否がついてないんですよ。けさ配った分だけ会派の賛否が、これがついてますね。だから、個人の賛否だとか、そういったのは必要じゃないかなという話でした。そんな意見でした。

**○奥岩委員長** 昨年から引き続きなんですけど、この広報広聴委員会の皆様の共通認識として、議会だよりは先ほど稲田委員が言われたとおり、今後もよりよいものにして、市民

の皆様にとりまして、読みやすいものにしていくというのが皆様の共通認識でございますので、引き続き対応させていただく部分はまだまだ、先ほども申し上げましたとおり過分にはあるんですが、そうはいいまして、皆様の承認がとれて進んでいきたいと考えております。先ほど石橋委員もおっしゃられたとおり、答弁者が誰だったかっていうのは重要なところでありますし、またほかの委員さん、多くの委員さんが言っておられたように、とはいえ、議会だよりが読み疲れがないように見やすく手にとりいただくという両方重要なことだと考えておりますので、その辺、本日の意見を皆様、会派のほうに持ち帰っていただきまして、次の議会だよりといたしますか、今後議会だよりを変える余地があるところがあれば、こういったところが余地があるのではないかとといったようなところを、各会派のほうで持ち帰っていただきまして、次回、広報広聴委員会のときに、また御協議させていただければと思いますが、いかがでしょうか。

**○岩崎委員** 持ち帰りは、ぜひ持ち帰ってもう1回は協議してもらいたいんですが、ポイントとして、あきる野市さんはごらんのように大項目一つなんですよね、全員がもう一つに限られてるので、当然情報量もぐっと圧縮されてスペースもできる、なんですよ。前回もありましたように、いやいや、やっぱり俺は2項目出したいよっていう人も必ずいると思うので、やっぱりどうせならしっかりと議論したことを出したいよっていうところがある気持ちもあるし、いやいやもうスペース的に1項目で何とかもうおさめてくださいよってというのが認められるかどうかというポイントもあると思うので、ちょっと持ち帰りに際しては、その辺もちょっと確認をお願いしたいなと思います。1項目でいいのか、大項目か。

**○奥岩委員長** 伊藤委員。

**○伊藤委員** 私、事務局にちょっとお尋ねしたいんです。あきる野市さんのを見ると、私も1項目でも2項目でもいいんだけど、やっぱりより簡潔にするためには、発言した議員としてはもっといろいろ書きたいっていうところもありますけれども、あきる野市さんみたいにやっぱりすっきりと見えるほうがいいなと思ったときに、一つ一つQRコードをホームページで見やすいようにしているのが、これが米子市議会でも可能なのかなのかっていうのを、ちょっと一点聞きたくて。もし可能であれば、本当にポイントだけここに記載して、あとのを見るというようなことは、今スマートフォンとか持ってらっしゃる方多いので、そういうことはできるのかなと思うのと、もう一つは、初めにも言ったんですけど、昨年までは12月議会のことは2月に発行だったんで、もう本当に日にちがなかったんですけど、今度3月になってちょっと日にちがあるとしたら、やっぱり今、事務局に本当に全てお任せして編集してもらってるんですけど、そのところをある時期やっぱり1日でもとって、編集をこの広報広聴委員会で少しこれはもうちょっと少なくしようだとか、これよりかこっちを載せようとか、そういうようなことがもう少し毎年できればなと思っているんです。可能かどうか、それも教えていただきたい。

(「技術的に可能なんですか。」と岩崎委員)

**○奥岩委員長** 事務局、お願いします。

**○佐藤議長調査担当主任** まずは、QRコードをお一人お一人載せる、これ開くのは何が開くのかは、ちょっと確認今できないのでわからないんですけど、例えば暫定版をホームページに載せているんですけど、あれはPDFを張りつけてますので、お一人のだけ、

この議員さんのを開くってというようなQRコードはできなくて、暫定版のページを開くなら、暫定版は会議録のデータ化、システムがあるんですけど、それができ上がった時点で消えてしまいますので、本格的なあのシステムといいますか、検索なんかできる会議録ができ上がったら消えちゃうので。ちょっとこれを開いて何が開くのか分からないんですけど、インターネット中継が開くのかどうかとか。ちょっと難しいかなっていうのが、事務局の見解です。

○奥岩委員長 稲田委員。

○稲田委員 理想論を言うと、稲田清という委員のQRコードがあって、どこに飛ぶかが、稲田清さんが過去やられた全部のリストにぼんって飛べばいいと思うんですよね。

一般質問しているのが、稲田さんとか前原さんのアーカイブのページがある、これが理想かな。そうしておけば、QRコードを設置しても……。

○奥岩委員長 事務局、お願いします。

○先灘局長 過去のものっていうのは、会議録のデータなんですか。それとも、議会だよりのバックナンバーをいうんでしょうか。

○奥岩委員長 稲田委員。

○稲田委員 私、あのライブ映像のアーカイブかと勘違いしてました、思っていました。

○奥岩委員長 事務局長。

○先灘局長 これ自体がどういうQRコードで、何につながってるかを確認しませんと、システムの関係があってお答えしかねるので。

（「一般質問の動画の視聴ができるようですね。」と佐藤議事長調査担当主任）

動画の視聴、わかりました。では、ネット中継のものにいくということですね。

○奥岩委員長 稲田委員。

○稲田委員 それはそれで。というのは、ちょっと済みません、長くなって申しわけないんですけど、今出てきた意見が、我々の旧来の米子市議会だよりは、どちらかというところと広告というか、それを読めば議会の、全部とはいいませんよ、かなりのものが手にとって読めばわかるなというものに近かったのかなと。今、我々が議論しているのはどちらかというところとツールとして、要は呼び込みのチラシとまではいいません、タウン誌ということは出てきますが、これ読んでもらったら興味を持って議会に次のステップの、要は傍聴に来ていただく、議員に直接話してみたい、ホームページにたくさん情報があるから、そこにアクセスしてほしいっていうものに、ちょっと我々の議論をシフトしてきてるのかなと思ってます。だから、今度出す意見としては、読めば全部わかる議事録に近いものから、さっき言ったチラシに近いものどこの辺が落としどころなのかなっていうのが、大卒決めてあると進みやすいかな。チラシに近いようであれば、A4、1枚裏表の、極論でいったらよくて、そこにQRコードを見てもらうとかなんとかなだし、そんなようなことは今感じたので、言わせてもらいました。

○奥岩委員長 事務局。

○先灘局長 編集の関係でこれが可能かどうかですけども、今のこの質問を書いていたんだけどいう部分があります。それについて、文字の修正まで、もうだめだって言われる方もいらっしゃるんです。要するに、この字はここで適切ではないということをお伝えするんですが、それもお断りされる議員さんもいらっしゃるようです。ですので、このもの

をここで……。

○伊藤委員 済みません、そこではなくて、例えば賛否のところだとか、あと決算の報告のところだとか、そういうようなところですか。ほかのところですか。一番最後のところのページだとか、議員の質問は、個々の質問はもうそこでできていて、そこ以外のところですか。もっと配置をこっちにしたいほうがいいんじゃないかとか。

○先灘局長 レイアウト編集のことですか。

○伊藤委員 レイアウト編集。そうです、レイアウトです。

○奥岩委員長 事務局、お願いいたします。

○佐藤議事長調査担当主任 御存じのとおり、今、全部事務局のほうでレイアウトを考えたりとかしてるので、その辺を考えていただけると事務局は助かりますし、もっと見ばえのいいものができるんじゃないかなとは思いますが、ただ、質問される方の人数によってページ数が結構制限があるので、ちょっとそのあたりを事務局と情報共有しながらレイアウトを考えていただけるというのは、十分可能だと思っております。何を載せるかとか。

○伊藤委員 例えば、その発言者が決まったときに、もう大体ページ数がわかってしまうので、あと残りのところを使って特に何を載せたらいいかとか、どういう順番で、見せ方はどういう見せ方をしたらいいかとか、そういうようなことをやっぱり広報広聴委員会が、議会が発信したいものと、あと市民の皆さんが知りたい情報というようなことを、もうちょっと酌み取ってそこのところにあらわすと、議会が何をやってるかわからんとか、議員はいつも何をやるとるだみみたいな、そういうようなところが少し情報共有できたりとか、やっぱりもっともっと関心を持っていただく、市政に参画していただくということが進むんじゃないかなと思います。

○奥岩委員長 事務局、お願いします。

○先灘事務局長 あきる野市さんのほうを拝見しますと、この議会だより、今後どうしていくかという部分の、議会だよりの役割といいますか、以前の昭和57年からできたときからと、具体的にはほとんどこれ変わっていないんですね。議員さんの質問が大体2項目あって、それも変わっていません。持ち量も若干減ったとしても、編集の仕方としてはレイアウトとかいろんな見やすさ、写真の工夫とかやってるんですが、基本的には変わっていないんですね。このあきる野市さんのほうを拝見しますと、トップのほうで、例えばピックアップという形でこんなことが決まりました、こんなことを議論しましたっていうところも、結局どの議員がどういうことを言ったではなくて、こういうことが議会で議論されたっていう、究極ですけども、そういう編集の仕方もされているところはあります。ですから、この議員さんが言われて、この方が回答しましたっていう部分よりも、どなたが言ったっていうのはもう出さずに、こういうことの議論がありました、こういう回答がありましたっていう、これここにもあるんですね、こういう形で決まりましたとか。ですので、今のお話し聞きますと、議員さんのこういう質問をしました、ではQアンドAどうですかという部分は、やっぱり行き着くところは議員さんも含めて、議会の報告会ではどなたが言ってこういう議論をしましたっていうのをしないっていうところがありますんで、では議会だよりは、どの議員さんが言ってこういう回答がありましたっていうところが、これずっと変わっていませんので、要はその根本の部分の考えというか、この議会だよりの役割っていいですか。今はネット中継、テレビ中継があるわけです。昔は会議録の紙だけで

した。そういう時代での議会だよりの役割から、今はもう全く変わってきた。QRコードを入れて、その動画までいこうという形ですので、ここのこの議会だよりの役割ってというのは相当時代の変化とともに変わってきてるんですが、実際は根本は変わっていないというのが私の印象なんです。ですから、その部分も今後見やすいのもあるんですけども、市民の方がどういう情報を聞きたいのか、誰がどういうことを言ったってことを聞きたいのか、どういう議論をしたのかってということなのか、やっぱり変革としてはその部分の根本がやっぱりないと、Q・Aにするしないっていう部分は、余り大きなことではないんじゃないかなっていう気は私はしてます。これを拝見しまして、結構読みやすい部分、一般質問もあります、決まったことを挙げてます。ですので、その部分が、いろんなやり方があると思いますが、質問の部分は確かにQ・Aです。決まったことまでこの議会だよりに上げているというところが、個人的にはちょっと違うんじゃないか、米子市とは違うんじゃないかなという気がしてます。

**○奥岩委員長** ほか、よろしいでしょうか。

稲田委員。

**○稲田委員** 議会だよりの意見は、こんな形でいろんな意見を出しながら、それでも前に進んでいくよと思いますし、宿題はちゃんとやっていこうと思います。

提案をさせてください。以前から言ってますけど、先ほど、きょう冒頭にありました5項目のやつですね、あれがいい悪いはおいといて、何回か回を重ねていくうちに、市民の方にどういう報告をしていけばいいのかっていうのは、常々私も考えるようにしてます。それから、やり方として普通の報告会なのでこちらから説明をして、最後質疑応答や何か意見があれば聞きます。それがオーソドックスなんですけど、できれば双方向な部分で、とはいえ報告なので名前は報告会かもしれませんが、言いたいのは、決算のことでも決まったことの報告、予算をこれからですよっていいですけど、議決はしてるので、やっぱり聞いて未来志向的な部分をどっか積極的に交わせる、意見交換する、意見交換のまた度合いもあれですけども、のようなものをちょっと提案だけさせていただきたいと思いますので、次の開催のときには、ちょっとその時間をまた委員長にいただきたいと思うし、皆さんにも御理解、このメンバー選考もなかなかスムーズにいくようなやり方もあったほうがいいかなと思ってますし、ちょっと私が思ってることを、次、提案させていただきたいと思いますので、皆さんもちょっと御理解をお願いいたします。以上です。

**○奥岩委員長** 広聴の部分と……。

**○稲田委員** そうですね、広聴の部分。

**○奥岩委員長** あとは当委員会の委員選考についてということですね。

ほか、ございませんでしょうか。

〔「はい」と声あり〕

**○奥岩委員長** それでは、3番、その他、特に委員の皆様から事前にはお受けしておりませんが、先ほど稲田委員から御意見ございましたが、ほか、ございますでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩委員長** 事務局、ございますでしょうか。

**○佐藤議長調査担当主任** ございません。

**○奥岩委員長** では、特にないようですので、以上で広報広聴委員会を閉会いたします。

**午前 11 時 30 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 29 条第 1 項の規定により署名する。

広報広聴委員長 奥 岩 浩 基